

# 日本語文章表現

## 第1講 「ことばと表現を知ろう」

入江 さやか(岐阜女子大学)



# 第1講「ことばと表現を知ろう」

## 【目的】

ことばと表現について学習し、豊かな語彙を自由自在に使えるようにトレーニングをする

## 【学修到達目標】

- 同音異義語、同訓異義語の違いを分析し、文脈に応じて適切に選択できる。
- 慣用表現、四字熟語、故事成語を使用した文章を評価し、適切な使用法を創造することができる。



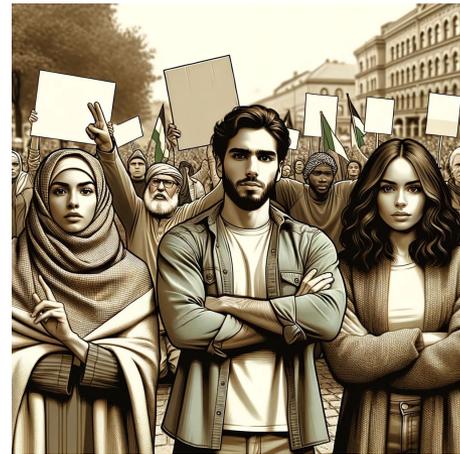
# 第1講 「ことばと表現を知ろう」

## 同音異義語とは

- 漢字には同じ音をもつものが多い。
- 語の意味自体が違う同音語は文脈に即して、適切に書き分けることが必要



講義



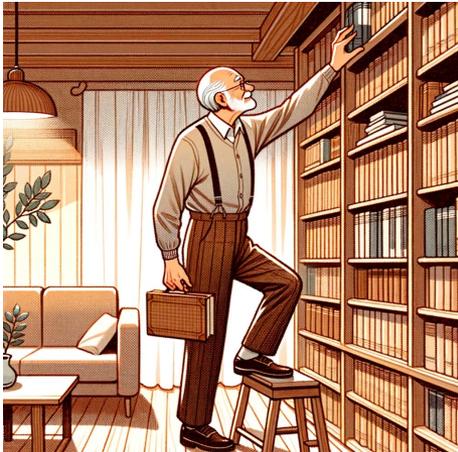
抗議



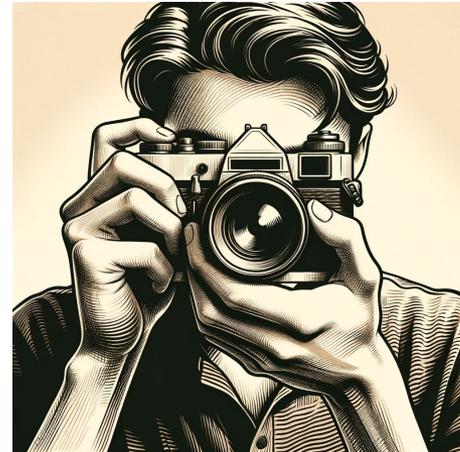
# 第1講 「ことばと表現を知ろう」

## 同訓異義語とは

- 訓読みは中国からもたらされた漢字に、日本語による意味や説明をあたえたもの
- 同訓異義語も同音異義語と同様に、文脈に即して、適切に書き分けることが必要



取る



撮る



# 第1講「ことばと表現を知ろう」

## 現代仮名遣い

- 一般の社会において現代の国語を書き表すための仮名遣いのよりどころ
- 昭和61年3月16日、国語審議会会長から文部大臣に答申。同年7月1日に内閣告示第1号をもって告示
- 平成22年11月30日の「常用漢字表」内閣告示に伴い、同日付けで一部改正



# 第1講 「ことばと表現を知ろう」

## 現代仮名遣い

### ■文化庁

[https://www.bunka.go.jp/kokugo\\_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/index.html](https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/index.html)



# 第1講 「ことばと表現を知ろう」

## 慣用表現

- 永く使い慣らされ、言い習わされてきた表現を慣用表現、慣用句という
- 2つ以上のことばが一緒になり、元の意味を離れて全体としてある一定の意味を表すきまり文句として使われる



# 第1講 「ことばと表現を知ろう」

## ことわざ

- 昔から言い習わされてきたことばで、教訓や生活の知恵となるような内容を短く表現
- 教訓的なものや、実生活の経験に基づくもの、批判や皮肉を含むものなど



## 故事成語

- 昔あった出来事や古い書物に書かれていたことをもとに作られたきまり文句



# 課題

1. 第1課のⅠの同音異義語・同訓異義語からⅢの慣用表現・ことわざ・故事成語までの問題を解く（指定のテキスト：1～12頁）
2. 確認クイズを解く（課題1の復習問題）
3. 小レポート（与えられたことわざや慣用句、故事成語を使って、短い物語やエッセイを書く）
4. 受講生が書いた課題3を読んで、コメントする



# 日本語文章表現

## 第1講 「ことばと表現を知ろう」

入江 さやか(岐阜女子大学)